

## 「全国皮膚病データベース（NSDD）に集積された梅毒画像を用いた AI による梅毒診断能の評価及びその活用方策に関する研究」について

東京科学大学政策科学分野では、標題の研究を実施しております。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下の通りです。

### ①試料・情報の利用目的及び利用方法

レントゲン写真や CT 画像から、人工知能（AI）により、自動で診断をするシステムの開発が進んでおり、近い将来 AI による自動読影が可能となると考えられています。皮膚科学領域でも、筑波大学では、皮膚の画像から悪性黒色腫を AI で診断する研究、東北大学では、アトピー性皮膚炎の経過観察をする研究などが進んでいます。

今回の研究では、皮膚の画像から梅毒を診断できる AI を作成することを将来の目的として、AI のプロトタイプを作成します。そのため、情報は、この AI プロトタイプの学習用のデータや、その精度を評価するための検証用のデータとして利用します。あなたの情報自体が本学に持ち込まれることはありませんが、この研究の共同研究機関である、筑波大学医学医療系皮膚科学で情報が利用されます。

### ②利用し、又は提供する試料・情報の項目

NSDD という、2018 年に作られた、皮膚病を集めたナショナルデータベースに保管されている情報を利用します。データベースに保管された情報には、皮膚病変のデジタル写真、診断名、年齢、性別、診断に利用した検査のデータ、治療の内容、転帰などがあります。個人を判別できる可能性のある、顔面全体の写真や、特徴的な刺青、詳細な指紋の写真はデータベースには入っていません。写真以外の情報についても、データベースにある情報では個人の特定はできないように、個人の対応表を作成しておりません。そのため、利用の際にあなたの個人情報が流出することはありません。

### ③利用又は提供を開始する予定日

準備が整い次第、利用を開始する予定です。具体的には、2024 年 8 月 15 日以降に利用を開始する予定です。

### ⑦利用する者の範囲

2000 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに、NSDD 研究に参加する機関の皮膚科を受診し、皮膚疾患の診断や治療を受けた中で、皮膚病変のデジタル写真がある患者さんの情報を利用します。

### ⑧試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

東京科学大学 〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 MD タワー16 階南

所属・担当者名：政策科学 教授 岡田 就将

Email: sokd.hcm@tmd.ac.jp

### ⑨研究対象者 等 の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する 旨

研究への参加をご希望しない場合、情報の利用を停止いたします。

### ⑩⑨ の研究対象者 等 の求めを受け付ける方法

本学担当者までご連絡をお願いいたします。

所属・担当者名：政策科学 教授 岡田 就将

Email: sokd.hcm@tmd.ac.jp